



2014年の夏、パレスチナのガザ地区は、イスラエルによる、言語を絶する大量破壊、大量殺戮に見舞われました。攻撃は51日間に及び、2200名もの命が奪われました。その大半が民間人、500名以上が子どもです。そして、50万もの人々が家を追われました。▶ ガザに対する大規模軍事攻撃は、これが初めてではありません。6年前の2008年12月、ガザ地区全土に対し突如、イスラエル軍による一斉攻撃が始まりました。完全封鎖され逃げ場のない150万の住民たちの頭上に、22日間にわたるサイルと砲弾の雨が降り注いだのです。世界がクリスマスの余韻に浸り、新年を祝っていたそのとき、ガザの人々は一方向的殺戮と破壊にさらされていました…。私たちの朗読劇「The Message from Gaza ガザ 希望のメッセージ」は、この出来事に対する応答として、2009年に誕生しました。▶ この朗読劇は、4つのテキストから構成されています。一つは、空爆下のガザから連日連夜、世界にメールを発信し続けたサイド・アブデルワーヘッド教授の『ガザ通信』、二つ目は1972年、36歳の若さで爆殺されたパレスチナ作家ガッサーン・カナファーニーの短編『ガザからの手紙』、三つ目は2003年、占領下のパレスチナ人住民の人権擁護活動のためガザに赴いたアメリカ人女子大生レイチェル・

コリーがガザからアメリカの家族に書き送ったメール、そして攻撃のさなか、ガザで活動を続けた、「インターナショナルズ」と呼ばれる世界の若者たちの証言です。▶ 私たち、平和をめざす朗読集団「国境なき朗読者たち」は、この朗読劇を上演するため、つばめクラブのプロデュースにより、2009年、京都の市民・学生有志をメンバーに結成されました。以来、京都を中心に、広島、東京などで上演を重ねてきました。▶ 停戦になり、一時に大量に人が殺されるという事態がなくなると、マスメディアは報道しなくなります。しかし、ガザでは依然、封鎖が続いています。家を失った何十万もの人々が、今、瓦礫の中で、冬の寒さを耐え忍んでいます。「過ちは二度と繰り返しませんから」という私たちの誓いをあざ笑うかのように、繰り返されるジェノサイド……。▶ いたび破壊と殺戮に見舞われようと、生を愛し、「人間の側に踏みとどまり続け」よとするガザの人々の闘い。不正と暴力に抗するために、朗読というアートを通して、ガザと私たちを、「想像力」という人間の力によって架橋します。肉声を通して語られるガザの声に触れ、今もなお完全封鎖のもとに置かれているガザへの思い、そして私たちが生きるこの世界への思いを新たにしてください。

岡 真理

死がガザを覆い尽くしている… 嘆き悲しみが、2009年という
新年の挨拶なのだ。どこに行けばいいのか、どこに隠れば
いいのか。イスラエルの攻撃のもとでは安全な避難場所など
どこにもありません。

サイド・アブデルワーヘッド 「ガザ通信」より

ナディヤは自分を救うことができたはずだ。
しかし、ナディヤはそうしなかった… なぜ？

ガッサーン・カナファーニー
「ガザからの手紙」より

時を越え、響き合う4つのテキスト…

国境を越え、響き合う思い、響き合う言葉たち…

これは、私がこの世に生まれてきたとき、望んだ
ことじゃない。パパとママが私に生を授けよう決めた
とき、私に生まれ出て欲しかったのは、
こんな世界じゃない…

レイチェル・コリー ガザからのメールより

国際ジャーナリストも支援団体もここにはいません。
ぼくらがガザを去ってしまったら、いったい誰が、
ぼくたちが今、目にしてこの戦争犯罪を
証言するのですか？

アルベルト・アルセ(ISM)
インターナショナルズの証言より

脚本・演出 岡 真理 / 出演 杏さだ子、片岡大輔、古澤亨、山本久子、浅井桐子、朴利明、神谷侑世、浅野早紀、若宮郁子
ピアノ 田村喜久子 / 音響・映像 山本晴臣、山本咲良 / 照明 斎藤浩一郎 / 制作補佐 津久井淑子、石川純子
制作 つばめクラブ(安藤栄里子)、ふえみん大阪、ガザ朗読劇三重公演実行委員会 / 協賛 市民社会フォーラム

〈2013年12月東京公演 来場者の方々の感想から〉

- 力強い声に、言葉に、からだは何度も震えました…
- 文学作品を読んだあとのように、深く心に染み入りました…
- 緊迫した臨場感。生の声を聴いて、想像力が身体の中を駆け廻りました…
- 個人の「声」には力があります。事実ではなく、真実を伝える力が…
- パレスチナで亡くなった方の魂が舞い降りたようでした…
- 抑圧に抵抗すること、敗北の中でそれでも人間であること、つながりの大切さを朗読からひしひしと感じました…

事前予約 1500円 (障がいのある方・学生 800円) / 当日 2000円 (同1300円)
及び介助の方

- ※ 開場は開演の30分前、受付は開場の20分前です。
- ※ 開演10分前までに、受付をお済ませください。開演前10分を過ぎても受付をされていない場合は、自動的にキャンセル扱いになります。
- ※ 定員100名です。満員の場合はご入場できませんので、事前に予約お申し込みくださいますようお願い申し上げます。
- ※ 劇団HPにて、随時、予約状況をお知らせします。

2015年2月1日(日)

- ① 14:00 開演(13:10受付開始、13:30開場、15:45終演)
- ② 18:00 開演(17:10受付開始、17:30開場、19:45終演)

予約・お問合せ 080-5314-1539 (つくい)
tsubamegekidan@gmail.com (つばめ劇団)

大阪ドーンセンター

京阪・地下鉄谷町線 天満橋駅1番出口 東へ350m

<http://www.dawncenter.or.jp/shisetsu/map.html>

2015年2月8日(日)

14:00 開演(13:10受付開始、13:30開場、15:45終演)

予約・お問合せ 059-229-3078 (FAX兼)
090-1239-1410 (宮西)

syashinten@za.ztv.ne.jp (広河隆一写真展事務局)

津中央公民館ホール

三重県津市大門7-15 津センターパルス2階

<http://www.kk-t-c-p.com/access/index.html>